

将来像について

幸せが実感できる **共生のまち** 長久手 ～そして、物語が生まれる～



平成 29 年度から、何回もの市民ワークショップ等を経て、ようやくたどり着いた「今後 10 年間で長久手市が目指すまち全体の将来像」を発表しました！

この将来像には、市民一人ひとりが地域に役割と居場所を持ち、関わり合い、お互いに助け合い支え合える「地域で共生するまち」、先人達が残してくれた豊かな「自然と共生するまち」にすることで、幸せが実感できるまちにし、いくつもの幸せな「物語」が、地域のいろいろなところで生まれることを目指す、という思いが込められています。

アンケートより

- 特に「気づいたこと」や「発見したこと」は？
 - ・それぞれの意見を言い合うことでさらに良いものになっていき、良い活動ができると思う。
 - ・若い世代が思ったより、おしゃべり・あいさつ等、古くから言われていることを大切にしている。
 - ・具体的にできることを考えるのは難しい。でも、楽しい。
 - ・長久手のみどりを守りたいと思っている人が多い。みどりは自分たちで守ることが大切。
- 自由意見
 - ・若者と高齢の方の世代的な考えの違いを共有しあうことは大切だと思いました。
 - ・今まで「まちづくり甲子園」で、学生だけで話し合ってきたが、初めて市民（大人）の方とお話しできて、みなさん否定せずに意見を聞いてくださってうれしかったです。
 - ・すでに市民が活動していることもあるので、それらがもっと盛り上がるためにできることは何か、今後考えていけるといいな、と思いました。
 - ・市民主体の方向性はいいが、取組を継続させるには、市・国・企業の適切なサポートが必要です。

次回予告

～第2回市民まちづくりプランづくり会議～

スマイルポイント対象事業



日時：2018年5月26日（土）14:00～16:00

場所：市役所西庁舎3階 研修室

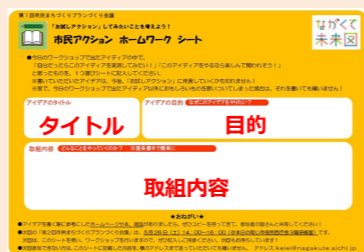
こちらから申し込みます→



内容：チーム編成・お試しアクションを考える

★第2回に向けて、宿題があります！★

第1回の内容を踏まえ、第2回までに、参加者のみなさんに、「自分だったらこのアイデアを実現してみたい！」「このアイデアが実現できるなら楽しんで関われそう！」というものを考えてきてもらう宿題を出しました！みなさんの素晴らしいアイデアを楽しみにしています！※第2回から参加の方もぜひ考えてみてください！



↑宿題のシートは、上記QRコードからダウンロードできます

第3回は、6月30日（土）10:00～12:00 市役所西庁舎3階研修室で開催します。
※第3回以降の日程については、追ってお知らせします。

第6次総合計画づくり事業

みんなで作る！

ながくて未来図

NewsLetter NO.⑦
2018.5月発行
長久手市経営企画課



2018年4月22日（日）
10:00～12:00
西庁舎3階研修室 参加者56名

プログラム

- 10:00 ふりかえり
- 10:20 市民まちづくりプランとは
- 10:40 グループ分け
- 10:50 ワークショップ
- 「10年後の目指すべき姿を実現するために、自分たちでできること（＝市民アクション）」を考えよう！
- 11:45 全体共有
- 11:55 おわりに



本市では、平成 29 年度から、多くの市民のみなさんと一緒に、これからのまちづくりの指針となる第6次総合計画（愛称：ながくて未来図）の策定作業に取り組んでいます。

その一環として、平成 30 年 4 月からは、平成 29 年度にみんなで考えてきた 10 年後の目指すべき姿を実現するために、市民のみなさんで取り組む内容をまとめる「市民まちづくりプラン」の検討作業に取り組んでいます。

今回は、その「市民まちづくりプラン」策定に向けた1回目のワークショップを開催し、56名の方々がグループに分かれ、「自分たちでできる取組のアイデア」を考えました。

市民まちづくりプランとは

10年後の目指すべき姿に向かって、市民のみなさんで取り組むこと(=「市民アクション」)をまとめるものです。これから検討作業を進めるにあたり、主に以下の3つを共有しました！

①なぜ必要なの？

今後、本市にも超高齢・人口減少社会が到来し、行政だけでは太刀打ちできない多くの課題が押し寄せてくることが予想されます。それらの課題を、**市民のみなさんの多様なアイデアを活かし、「市民のみなさんの力・地域の力」で解決する「市民主体のまち」実現につながるために**、市民まちづくりプランは、必要になります。

②策定スケジュール

4/22	市民アクションのアイデア出し
5/26	チーム編成・「お試しアクション」検討
6/30	「お試しアクション」に向けての準備
お試しアクションの実施(7月～8月)	
9月頃	「お試しアクション」のふりかえり
12月頃	「お試しアクション」発表会

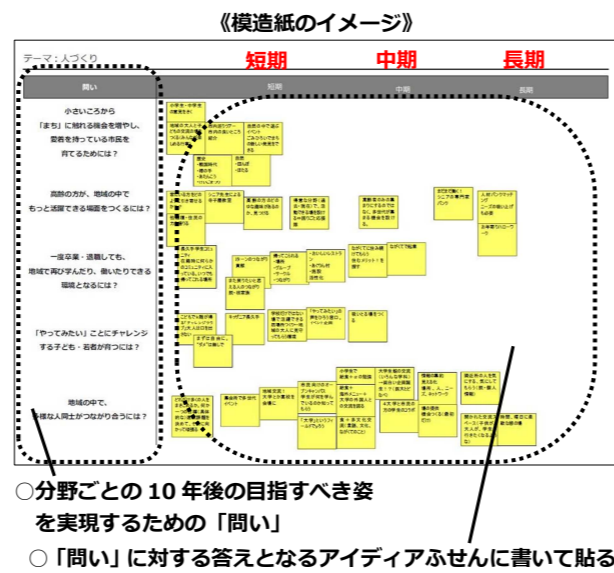
プラン策定・平成31年度以降の本格実施へ！

グループワーク

ここからは、基本目標の6つの分野に分かれ、以下の手順で、グループワークを行いました。

- ①分野ごとの10年後の目指すべき姿を実現するための「問い」への答えとなるアイデアを、個人で考える。
- ②グループで、アイデアを模造紙に貼り、共有する。
- ③アイデアを、短期・中期・長期に割り振る。

短期・中期・長期と割り振ることで、短期的なアイデアばかりでなく、**長期的な視点を持つことの大切さ**を感じることができました。また、「短期」で実施するアイデアと「中期」「長期」のアイデアとのつながりを見える化することができました。



人づくり

アイデア (抜粋)

- 《短期》
 - 地域の大人と子どもが楽しめる交流の場をつくる
 - 学生がまた長久手市に帰って来たくなくなるような、地域コミュニティをつくる
- 《中期》
 - 長久手に住みづづけたくなるメリットを探す
- 《長期》
 - シニアの専門家人材バンクをつくる
 - 長久手市で起業する人を応援する

子ども

アイデア (抜粋)

- 《短期》
 - 放課後の子どもの居場所として、集会所を開放する
 - お母さんや子どもたちの悩んでいることを調べる
- 《中期》
 - 子育てサポートブックを作る
 - 子育てサロンを各小学校区で開く
 - 子ども同士がつながる「子どもつながり部」をつくり、高校生が運営する！
- 《長期》
 - お母さんが安心して働けるママ Work ステーションをつくる
 - フリースクールのような場所をつくる

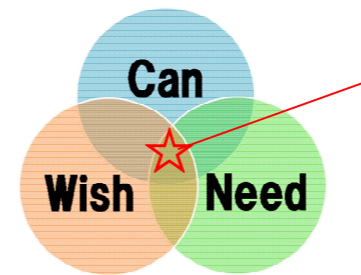
自然環境

アイデア (抜粋)

- 《短期》
 - 市が行う自然環境のイベントや事業をカレンダーにする
 - 公園の草取りをする
 - 農業体験ツアー等の機会を提供して希望者を募り、体験者に田畑を守ってもらう
 - 農業体験をするグループをつくる
- 《中期》
 - みんなで雑木林を手入れする
- 《中期～長期》
 - 自由に使えるキャンプ場をつくる
 - 長久手の特産品の開発と販売を行う

③市民アクションを考える上での「大事な3つの視点」

「3つの輪のバランス」



Can(できること)・Wish(やりたいこと)・Need(求められていること)の3つの輪のバランスが大事！

「市民の力で」

市民アクションを行う主体は、「市民」のみなさん！
主語は、「私」「私たち」「市民」と言うことを意識し、市民アクションを考えましょう！

《参考》
瀬戸市に「キミチャレ」という取組があります。これは、子どもが自分のやりたいことを自分の力で実現させていく取組です。「市民アクション」は、「キミチャレ」の市民版といえるかもしれません。

「楽しむ！！」



楽しくやるのが大事！！
Wish(やりたいこと)を最優先に、「ワクワクすること」を考えましょう！

《短期》

- 毎日笑顔であいさつする
- 困ったことを誰かに知らせる
- 安心メールの内容を、大型商業施設等で店内放送する

《中期》

- 交通防災のリーダーを退職した警察官にお願いする
- 相談掲示板を設置する

《長期》

- 困りごとの相談ができる仕組みや場所をつくる

アイデア (抜粋)

生活①

生活②

アイデア (抜粋)

《短期》

- 近所の人と集まってお茶会をし、顔見知りの関係を築き、お互いの情報を共有する
- 地域でいろいろな人が集まるイベントを開催し近所のおすすめの店等を紹介し合う
- 福祉施設の案内やサービスの見える化を行う

《中期》

- おしゃべりする人が集まるためのサロン等の場所をつくる

交流①

アイデア (抜粋)

《短期》

- 子どもがお年寄りに歴史についてインタビューする
- 長久手に長く住む人が学校で歴史の授業をする

《中期》

- 子ども歴史案内委員をつくる
- 歴史を学びながらジョギングをする

《長期》

- 歴史を盛り上げるキャラクターをつくる

交流②

《短期》

- 子どもに長久手の歴史スポットを見せようツアーを企画
- 「長久手」にちなんで、何か長いものを作ってギネスにチャレンジする(「長くてごめん」)

《中期》

- 神社を地域のよりどころにする

《長期》

- 誰もが史跡巡りができる環境を整備する

アイデア (抜粋)

都市経営①

《短期》

- 交通安全を見守るボランティアを増やす

《中期～長期》

- ロボットを使った移動手段を考える
- 住宅地でのエネルギー消費と自然でのエネルギー生産を見える化する

都市経営②

《短期》

- 歩きづらい箇所のマップづくり
- バス停の居心地をよくする
- 公共交通利用者がシェアサイクルを使えるようにする
- 公共交通体験記(公共交通の便利な使い方)をつくり、発信する
- 歩いて心地よくするために緑を増やす